

小中学校のあり方意見交換会 議事録
(加須西中学校区)

令和6年2月7日 15:00～16:30
パストラルかぞ(多目的室)

参加者

幼稚園評議員及び小中学校評議員 16名

教育長・教育委員

小野田教育長、猪股委員、松永委員、片山委員

校長・園長

柳沢不動岡小学校長兼不動岡幼稚園長、光野礼羽小学校長兼礼羽幼稚園長、
寺井志多見小学校長、藤間加須西中学校長

事務局

齊藤生涯学習部長、中島学校教育部長、野本こども局長、高貫教育総務課長、清水学校教育課長、関口こども保育課長、岡田教育総務課主幹、野本学校教育課主幹兼指導主事、澁谷学校教育課主幹兼指導主事、荒木こども保育課主幹兼指導主事、杉田教育専門員、狩野教育総務課主査

意見交換

学校ごとにグループで話し合いを実施(校長同席、教育委員会職員も会話に参加)

会議資料

別添資料のとおり

幼稚園・小中学校評議員からの主な意見（学校ごと）

【不動岡小学校・不動岡幼稚園】

- 不動岡幼稚園で女の子が1人のことがあり、不動岡小学校が6年後に半分近くになるため男女のバランスが心配である。
- 小規模になると、友達とのコミュニケーションの関わりが少なくなる、PTA役員やPTA事業の保護者負担が増える、運動会などのイベントで迫力がなくなるといった懸念がある。
- 人数が少なくなることで手厚く指導してもらえるメリットもある。
- 学校の適正規模としては、複数のクラスで1クラス30人程度が適切である。
- 近隣の先進事例について学ぶことが重要である。

【礼羽小学校・礼羽幼稚園】

- 西地区として礼羽幼稚園は残してほしい。
- 小学校の大規模改造があるため、学童の施設も整備してほしい。
- 水泳の授業は、現在の加須南小学校のプールの利用では授業時間が短くなっているため、スイミングスクールがよい。
- 運動会などのイベントは人数が多いほうが良いので、複数校で開催してもよい。
- スクールバスをうまく運用してほしい。

【志多見小学校】

- 小規模校はデメリットばかりではないが、100人を切るようになると、例えばリレーを行うのも難しくなり、デメリットが大きくなっていくのではないかと。
- 志多見地区は新たな住宅が建てられない地域であり、市の将来計画について考える必要がある。
- 児童数が減少したからといって、すぐに他の学校と統合するのは適切ではない。
- 社会的な増減も考慮に入れて、今後の対策を考えるべき。
- 志多見小学校は田ヶ谷小学校の方が近く、大きな国道もないため登下校の安全であることから、旧市町の境界をなくして考えるべき。
- 小学校がなくなることで地域そのものがなくなってしまうという問題もある。

【加須西中学校】

- 学校は地域の要であり、再編は行政の計画に基づいて進めてほしい。再編が実際にスタートするのは、5年後、10年後の話となるので、その期間を考えると、行政の計画に基づいて進めるべきである。
- 公教育の重要性をより一層考えてほしい。

- 小学校と中学校を含めた義務教育学校についての検討も必要である。
- 中学校の規模は、3クラスから4クラスが適正であり、2クラスでは厳しい。
- 教育委員会だけでなく、行政全体が関与するべきである。
- 児童数が少なくなることについて、行政として真剣に考えていくべきである。

幼稚園・小中学校評議員からの質問等

特になし